職業実践専門課程等の基本情報について

学校名 専門学校北海道サイ	(パークリエイ				長名		065-0015				
タース・大学村		昭和61年12	月2日	橋本	: 直樹		札幌市東区北15条頁 011-711-6311	東6丁目3番1号			
設置者名		設立認可年	月日	代表	長者名		060-0063	所在地			
学校法人吉田	学園	昭和53年10	31日	吉田	I 祐樹	(住所)	北海道札幌市中央区	区南3条西1丁目15番均	也		
分野		認定課程名		認定学科	名		011-272-6070 引士認定年度	高度専門士認定	年度 []	職業実践専	門課程認定年度
工業		分野 専門課程	ゲーム	クリエイター 制)	字科(3 年	71	-	-	1/2	1,332,132,132	-
学科の目的		. 高等学校教育の基 うことを目的とする。	世の上に職業		要な知識及び	技術を授け、	、ゲーム業種・業界に	適応しうる資質の向上を	目標とし、有	有為な人材の)育成を図るため、
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)		な資格】 算処理技能認定試験 4月1日名称変更(ムクリエイター	−学科・ゲー <i>L</i>	、エンジニア [‡]	学科統合)				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必	要な総授業8 1位数	時数又は総	講事	É Š	演習	実習	実験	ф	実技
3 年	昼間	※単位時間、単位いずれ かに記入) 単位時間 - 単位		単位時間単位	1,770 単位時間 - 単位	0 単位時間単位	0 単	単位時間 単位	0 単位時間単位
生徒総定員		€員(A) 留学:	主数(生徒実員)	の内数)(B)	留学生割	合(B/A)	中退率	•		,	
105 人	27	Д	0	人	0	%	0 %				
	■卒業者		:	-		<u> </u>		•			
	■就職布		: :								
	■地元就	職者数(F)		-		人					
	■就職率 ■就職者	(E/D) に占める地元就職者	の割合 (F/I	– E)		%					
						%					
	■华業者	に占める就職者の割	音(E/C)	_		%					
就職等の状況	■進学者			-		人					
	■その他										
	(令和		者に関する令	介和7年5月1	1 日時点の情報	ł)					
		職先、業界等									
	(令和6年度	【华莱生)									
		評価機関等から第					無				
第三者による		評価機関等から第、例えば以下について					無				
第三者による 学校評価	※有の場合				受審年月:	_	評	F価結果を掲載した SームページIIRI -			
学校評価	※有の場合	、例えば以下について			受審年月:	-	評	F価結果を掲載した ムページURL -	-		
	※有の場合	、例えば以下について 評価団体: -			受審年月:	-	評	F価結果を掲載した ムページURL -	-		
学校評価 当該学科の	※有の場合	、例えば以下について			受審年月:	_	評	P価結果を掲載した - - ムページURL -	-		
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://ye	、例えば以下について 評価団体: -			受審年月:	-	評	P価結果を掲載した ムページURL -	-		
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://ye	、例えば以下について 評価団体: — oshida-hcc.jp/			受審年月:	-	評	P価結果を掲載した ムページURL -	2,640 单	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://ye	、例えば以下について 評価団体: - oshida-hcc.jp/ な時間による算定) 総授業時数	任意記載	た実験・実習	受審年月: ・ ・ 実 技の 授業		評	P価結果を掲載した ムページURL -		単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合 https://ye	、例えば以下について 評価団体: - oshida-hcc.jp/ な時間による算定) 総授業時数 うち企業	任意記載 等と連携し1		・実技の授業		評	P価結果を掲載した - ムページURL -	0 単	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://ye	、例えば以下について 評価団体: - oshida-hcc.jp/ な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	任意記載 等と連携し <i>1</i> 等と連携し <i>1</i>	た実験・実習	・実技の授業		評	F価結果を掲載した - ムページURL -	0 単	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://ye	、例えば以下について 評価団体: - oshida-hcc.jp/ な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	年意記載 等と連携し 特と連携し 授業時数	た演習の授業	・実技の授業時数	時数	辞水	を価結果を掲載した ・・・ムページURL -	90 単2,010 単	単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 https://ye	、例えば以下について 評価団体: - oshida-hcc.jp/ な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	等と連携した 等と連携した 受業時数 うち企業等	た演習の授業	・実技の授業 時数 必修の実験・	時数 実習・実技 <i>α</i>	辞水	を価結果を掲載した ベームページURL	0 90 90 2,010 单 0 单	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合 https://ye	、例えば以下について 評価団体: - oshida-hcc.jp/ 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	等と連携し1 等と連携し1 授業時数 うち企業等 うち企業等	た演習の授業 等と連携した 等と連携した	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	時数 実習・実技 <i>の</i> 授業時数	辞水	を価結果を掲載した ベームページURL	0 90 90 2,010 0 9 60 9	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL	※有の場合 https://yu (A:単位	、例えば以下について 評価団体: - oshida-hcc.jp/ 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	等と連携し1 等と連携し1 授業時数 うち企業等 うち企業等	た演習の授業 等と連携した 等と連携した	・実技の授業 時数 必修の実験・	時数 実習・実技 <i>の</i> 授業時数	辞水	を開始した - ムページURL -	0 90 90 2,010 0 9 60 9	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等とと連携したた	※有の場合 https://yu (A:単位	、例えば以下について 評価団体: - oshida-hcc.jp/ 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企	等と連携し1 等と連携し1 授業時数 うち企業等 うち企業等	た演習の授業 等と連携した 等と連携した	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	時数 実習・実技 <i>の</i> 授業時数	辞水	を価結果を掲載した - ムページURL	0 90 90 2,010 0 9 60 9	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 東習等の実施状況	※有の場合 https://yu (A:単位	 、例えば以下について 評価団体: - 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 放数による算定) 	等と連携し1 等と連携し1 授業時数 うち企業等 うち企業等	た演習の授業 等と連携した 等と連携した	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	時数 実習・実技 <i>の</i> 授業時数	辞水	を価結果を掲載した - ムページURL	0 单 90 单 2,010 单 0 单 0 单 0 单	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携使した況への表	※有の場合 https://yu (A:単位	 、例えば以下について 評価団体: - 立ちは由一トロス・カートロ	等と連携し1 等と連携し1 授業時数 うち企業等 うち企業等 ま等と連携(た演習の授業 等と連携した 等と連携した したインター	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授	時数 実習・実技6 授業時数 (業時数)	辞水	を掲載した ムページURL	0 单 90 单 2,010 单 0 单 0 单	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携使した況への	※有の場合 https://yu (A:単位	 、例えば以下について 評価団体: - poshida-hcc.jp/ 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 な数による算定) 総単位数 うち企業 	等と連携し1 等と連携し1 授業時数 うち企業等 うち企業等 等と連携し	た演習の授業等と連携した等と連携したしたインター	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ・ンシップの授	時数 実習・実技6 授業時数 (業時数)	辞水	を組織した ムページURL	0 单 90 单 2,010 单 60 单 6 4 4 -	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携使した況への表	※有の場合 https://yu (A:単位	 、例えば以下について 評価団体: - poshida-hcc.jp/ 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 な数による算定) 総単位数 うち企業 	等と連携し1 等と連携し1 授業時数 うち企業等 うち企業等 等と連携し	た演習の授業 等と連携した 等と連携した したインター	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ・ンシップの授	時数 実習・実技6 授業時数 (業時数)	辞水	P価結果を掲載した ムページURL	0 单 90 单 2,010 单 60 单 6 4 4 -	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携失した況への表す。	※有の場合 https://yu (A:単位	 、例えば以下について 評価団体: - poshida-hcc.jp/ 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 な数による算定) 総単位数 うち企業 	等と連携し1 等と連携し1 授業時数 うち企業等 うち企業等 等と連携し1 等と連携し1	た演習の授業等と連携した等と連携したしたインター	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ・ンシップの授	時数 実習・実技6 授業時数 (業時数)	辞水	P価結果を掲載した ムページURL	0 单 90 单 2,010 单 60 单 0 单 - 单	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携失した況への表す。	※有の場合 https://yu (A:単位	 、例えば以下について 評価団体: - poshida-hcc.jp/ 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 	等と連携し1 等と連携し1 授業時数 うち企業等 うち企業等と連携し1 等と連携し1 等と連携し1	た演習の授業等と連携した等と連携したにインター	・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ・ンシップの授	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数	かけまた かいかい かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かい	P価結果を掲載した - ムページURL	0 単 2,010 単 2,010 単 60 単 - 単	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携使した況への表	※有の場合 https://yu (A:単位	 、例えば以下について 評価団体: - poshida-hcc.jp/ 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 	等と連携し1 等と連携し1 授業時数 うち企業等 うち企業等と連携し1 単位数 うち企業等	た演習の授業等と連携した 等と連携した となり、 となり、 となり、 となり、 となり、 となり、 となり、 となり、	・実技の授業 ・必修の実験・ ・必修の演習の ・ンシップの授	時数 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 実習・実技の	かけまた かいかい かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かい	P価結果を掲載した ムページURL -	0 単 90 単 2,010 単 0 単 60 単 - 単 1 - 単	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等とと連携した況への表した。	※有の場合 https://yu (A:単位	 、例えば以下について 評価団体: - pshida-hcc.jp/ な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち必修 	等と連携し1 等と連携し1 授業時数 うち企業等 うち企業等 ・ 単位数 うち企業等 ・ 単位数 うち企業等	た演習の授業 等と連携した 等と連携した したインター た実験・実習 を た演習の単位 等と連携した 等と連携した	・実技の授業 ・必修の実験・ ・必修の演習の ・ンシップの授 ・実技の単位 数	時数 実習・実技の 授業時数 教 数 実習・実技の 数	かけまた かいかい かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かい	P価結果を掲載した ムページURL -	0 単 90 単 2,010 単 0 単 60 単 - 単 - 単	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等をと連携した況の	※有の場合 https://yu (A:単位	 、例えば以下について 評価団体: - pshida-hcc.jp/ な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち必修 	等と連携し1 等と連携し1 授業時数 うち企業等 うち企業等 ・ 単位数 うち企業等 ・ 単位数 うち企業等	た演習の授業 等と連携した 等と連携した したインター た実験・実習 を た演習の単位 等と連携した 等と連携した	・実技の授業 ・必修の実験・ ・必修の演習の ・シシップの授 ・実技の単位 数 ・必修の実験・ ・必修の実験・ ・必修の演習の	時数 実習・実技の 授業時数 教 数 実習・実技の 数	かけまた かいかい かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かい	P価結果を掲載した ムページURL -	0 単 90 単 2,010 単 0 単 60 単 - 単 - 単	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等とと連携した況への表した。	※有の場合 https://yu (A:単位	 、例えば以下について 評価団体: - pshida-hcc.jp/ な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち必修 	等と連携し1 等と連携し1 授業時数 うち企業等 うち企業等 ・ 単位数 うち企業等 ・ 単位数 うち企業等	た演習の授業 等と連携した 等と連携した したインター た実験・実習 を た演習の単位 等と連携した 等と連携した	・実技の授業 ・必修の実験・ ・必修の演習の ・シシップの授 ・実技の単位 数 ・必修の実験・ ・必修の実験・ ・必修の演習の	時数 実習・実技の 授業時数 教 数 実習・実技の 数	かけまた かいかい かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かい	P価結果を掲載した ムページURL -	0 単 90 単 2,010 単 0 単 60 単 - 単 - 単	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等とと連携した況への表した。	※有の場合 https://yu (A:単位	 、例えば以下について 評価団体: - oshida-hcc.jp/	等と連携した 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等 等と連携した 等と連携した 等と連携した うち企業等 等と連携した。 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 きと連携した。	た演習の授業 等と連携した したインター た実験・実習の単位 等と連携した したインター したインター したインター したインター したインター した・大変報の単位 したインター した・大変報の単位	・実技の授業 ・ 実技の授業 ・ 必修の実験・ ・ 必修の演習の ・ 少シップの授 ・ 実技の単位 数 ・ 必修の演習の ・ で表表の ・ で表表の ・ で表表の ・ 必修の演習の ・ である。	時数 実習・実技の 授業時数 教 数 実習・実技の 数	かけまた かいかい かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かい	を価結果を掲載した - ムページURL -	0 単 90 単 2,010 単 0 単 60 単 - 単 - 単	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等とと連携した況への表した。	※有の場合 https://yu (A:単位	、例えば以下について 評価団体: - pshida-hcc.jp/ p時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 対数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 (うち企	等と連携し1 等と連携し1 授業時数 うち企業等 うちを連携し1 うちを連携し1 等をと連携し1 うちを連携し1 うちを連携し1 うちを連携に2 ま等と連携に2 ま等をと連携に2 までをませた。	た演習の授業等と連携したた演習の授業等と連携したたま選携したた実験の単生を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	・実技の授業 ・必修の実験・必修の実験・ ・必修の実験・ ・必修の実験・ ・シップの授 ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・	時数 実習・実技の 授業時数 (要等数) 数 単位数 位数)	かけまた かいかい かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かいまた かい	T-AN-YURL	0 単 90 単 2,010 単 0 単 60 単 - 単 - 単	単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 単単位 単単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等とと連携した況への表した。	※有の場合 https://yu (A:単位	 ・、例えば以下について 評価団体: - pshida-hcc.jp/ な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 2数による算定) 3ち企業 うち企必修 うち企業 うち企必修 である。 での担当する教育 できる教育 できるをときる教育 できるをときる教育 できるをときるをときななどのできなどのできるをとなるをとなるをとなるをとなるをとなるなどのできなどのできまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた	等と連携し1 等と連携し1 授業時数 うち企業等 うちを連携し1 うちを連携し1 等をと連携し1 うちを連携し1 うちを連携し1 うちを連携に2 ま等と連携に2 ま等をと連携に2 までをませた。	た演習の授業等と連携したた演習の授業等と連携したたま選携したた実験の単生を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	・実技の授業 ・必修の実験・必修の実験・ ・必修の実験・ ・必修の実験・ ・シップの授 ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・	時数 実習・実技の 授業時数 (要等数) 数 単位数 位数)	の授業時数	T-AN-YURL	0 90 2,010 0 60 4 0 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - - - - - - - - - -	単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 単単位 単単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携使した況への	※有の場合 https://yu (A:単位	 、例えば以下について 評価団体: - oshida-hcc.jp/ な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うちの担業年度る者と名様 ① 専門等談 ① 中央日報会 ① 中央日報会 ② おります ② はなります ② はなりまする ② はなります ② はなりまする ② はなります ② はなります<td>年意記載 等と連携した 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業 等と連携した うち企業等 単位数 うちと連携した うちと連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携に、 第等と連携に、 第等と連携に、 第等と連携に、 第一、 第一、 第一、 第一、 第一、 第一、 第一、 第一</td><td>た演習の授業等と連携したた演習の授業等と連携したたま選携したた実験の単生を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を</td><td>・実技の授業 ・必修の実験・必修の実験・ ・必修の実験・ ・必修の実験・ ・シップの授 ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・</td><td>時数 実習・実技の 授業時数) 数 数 単位数 位数)</td><td>か が が が が が が が が が が が が が</td><td>マームページURL</td><td>0 90 90 90 90 90 90 90 9</td><td>単位時間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単</td><td></td>	年意記載 等と連携した 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業 等と連携した うち企業等 単位数 うちと連携した うちと連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携に、 第等と連携に、 第等と連携に、 第等と連携に、 第一、 第一、 第一、 第一、 第一、 第一、 第一、 第一	た演習の授業等と連携したた演習の授業等と連携したたま選携したた実験の単生を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	・実技の授業 ・必修の実験・必修の実験・ ・必修の実験・ ・必修の実験・ ・シップの授 ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・	時数 実習・実技の 授業時数) 数 数 単位数 位数)	か が が が が が が が が が が が が が	マームページURL	0 90 90 90 90 90 90 90 9	単位時間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した表習等の実施状況か に記入)	※有の場合 https://yu (A:単位	 、例えば以下について 評価団体: - oshida-hcc.jp/ 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企外 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企金 でのを でのを でのを での での	年意記載 等と連携した ()	た演習の授業等と連携したた演習の授業等と連携したたま選携したた実験の単生を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	・実技の授業 ・必修の実験・必修の実験・ ・必修の実験・ ・必修の実験・ ・シップの授 ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・	時数 実習・実技の 授業時数) 数 数 単位数 (専修学社 (専修学社	の授業時数 の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	(マームページURL) (東京 1号) (東京 1号) (東京 2号)	0 90 90 90 90 91 92 93 94 96 96 96 97 98 98 99 99 99 99 99 99	単位時間間 単位時間間 単単位時間間 単単位時間間 単単位 単単位 単単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL を業等等のいいた況かに記入)	※有の場合 https://yu (A:単位	 、例えば以下について 評価団体: - oshida-hcc.jp/ な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うちの担業年度る者と名様 ① 専門等談 ① 中央日報会 ① 中央日報会 ② おります ② はなります ② はなりまする ② はなります ② はなりまする ② はなります ② はなります<td>年意記載 等と連携した ()</td><td>た演習の授業等と連携したた演習の授業等と連携したたま選携したた実験の単生を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を</td><td>・実技の授業 ・必修の実験・必修の実験・ ・必修の実験・ ・必修の実験・ ・シップの授 ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・</td><td>時数 実習・実技の 授業時数) 数 数 単位数 (専修学社 (専修学社</td><td>か が が が が が が が が が が が が が</td><td>(マームページURL) (東京 1号) (東京 1号) (東京 2号)</td><td>0 90 90 90 90 90 90 90 9</td><td>単位時間間 単位時間間 単単位時間間 単単位時間間 単単位 単単位 単単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位</td><td></td>	年意記載 等と連携した ()	た演習の授業等と連携したた演習の授業等と連携したたま選携したた実験の単生を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	・実技の授業 ・必修の実験・必修の実験・ ・必修の実験・ ・必修の実験・ ・シップの授 ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・	時数 実習・実技の 授業時数) 数 数 単位数 (専修学社 (専修学社	か が が が が が が が が が が が が が	(マームページURL) (東京 1号) (東京 1号) (東京 2号)	0 90 90 90 90 90 90 90 9	単位時間間 単位時間間 単単位時間間 単単位時間間 単単位 単単位 単単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施状況か に記入)	※有の場合 https://yu (A:単位	 、例えば以下について 評価団体: - oshida-hcc.jp/ 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企外 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企金 でのを でのを でのを での での	年 を と 連携 し 1 が	た演習の授業等と連携したと連携したした実験・実習の単位を決議したと連携したとなる。	・実技の授業 ・必修の実験・必修の実験・ ・必修の実験・ ・必修の実験・ ・シップの授 ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・	時数 実習・実技な 授業時数) 数 数 単位数 位数) (専修学) (専修学)	の授業時数 の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	(マームページURL) (東第1号) (東第2号) (東第3号)	0 90 90 90 90 91 92 93 94 96 96 96 97 98 98 99 99 99 99 99 99	単位時間 単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 単位 単位 単位 単位 基単位 人 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL を業等等の実施が、に記入) に記入)	※有の場合 https://yu (A:単位	、例えば以下について 評価団体: - pshida-hcc.jp/ は時間による算定 総授業時数 うち企産が (うち企 が数による算定) 総単位数 うち企産が (うち企 が数による第一 (うち企 であると (うち企 であると (うち企 であると (うち企 であると (うち企 であると (うち企 であると (うちを) 「での修す言談を (うちを) 「でのがきが、 「でのがきが、 「でのがきが、 「でのがきが、 「でのがきが、 「でのがまますを 「でのがまますを 「でのがまますを 「でのがまますを 「でのがまますを 「でのがまますを 「でのがまますますを 「でのがまますますますますますますますますますますますますますますますますますますま	年 を と 連携 し 1 が	た演習の授業等と連携したと連携したした実験・実習の単位を決議したと連携したとなる。	・実技の授業 ・必修の実験・必修の実験・ ・必修の実験・ ・必修の実験・ ・シップの授 ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・	時数 実習・実技の 授業時数) 数 数 単位数 位数) (専修学) (専修学) (専修学)	ア授業時数 ア単位数 を設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	(マームページURL) (東第1号) (東第2号) (東第2号) (東第3号) (東第4号)	0 年 2 0 1 0 4 0 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0	単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 単単位 単単位 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上	
学校評価 当該学科のホームページ URL を業等等の実施が、に記入) に記入)	※有の場合 https://yu (A:単位	 ・ 例えば以下について 詳価団体: - ・ poshida-hcc.jp/ な時間による算定) 総授業時数 うちを企業 ・ うちを企業 ・ できずを必要 ・ できずをを変します。 ・ できずを表する ・ できずをある できずをからまする できずをある できずをある できずをある できずをある できずをある できがある できがある できがある 	年 を と 連携 し 1 が	た演習の授業等と連携したと連携したした実験・実習の単位を決議したと連携したとなる。	・実技の授業 ・必修の実験・必修の実験・ ・必修の実験・ ・必修の実験・ ・シップの授 ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・	時数 実習・実技の 授業時数) 数 数 単位数 位数) (専修学) (専修学) (専修学)	の授業時数 の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	(マームページURL) (東第1号) (東第2号) (東第2号) (東第3号) (東第4号)	0 単 90 単 2,010 単 0 単 0 単 - 単 - 単 - 単 - 単 3 人 1 人 0 人 0 人	単位時間 間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL を業等をの実施がずれた。 に記入) を教員について を教教員について	※有の場合 https://yu (A:単位	、例えば以下について 評価団体: - pshida-hcc.jp/ な時間による算定) 総授業時数 うちのを (うちを企業を修うする。 (うちを企業を修うする。 (うちを企業を修うする。) お数による第一章を発する。 (うちを企業を修うする。) お数による第一章を発する。 (うちを企業を修うする。) お数による第一章を発する。 (うちを企業を修うする。) お数による第一章を発する。 (うちを企業を修うする。) 「ものを表する。)	年 を と 連携 し 1 が	た演習の授業等と連携したと連携したした実験・実習の単位を決議したと連携したとなる。	・実技の授業 ・必修の実験・必修の実験・ ・必修の実験・ ・必修の実験・ ・シップの授 ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・	時数 実習・実技の 授業時数) 数 数 単位数 位数) (専修学) (専修学) (専修学)	の授業時数 の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	(マームページURL) (東第1号) (東第2号) (東第2号) (東第3号) (東第4号)	0 単 90 単 2,010 単 0 単 0 単 - 単 - 単 - 単 - 単 3 人 1 人 0 人	単位時間 間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL を業等等の実施が、に記入) に記入)	※有の場合 https://yu (A:単位	、例えば以下について 評価団体: - pshida-hcc.jp/ pshida-hcc.jp/ pshida-hcc.jp/ pshida-hcc.jp/ pshid	任意記載 等と連携し1 行業等と連携し うすちと 連連進数 うちちと 連連進数 うちちと 連連進数 うちちと 乗等 半 単 の立立を連携し うちちと 乗等 と を 連連連数 うちちと 乗業等 と を を を を を を き を き を き を き を り を り を り を	た演習の授業等と連携したた演習の授業を連携したた実験である。 実事 したた 実 正連携 しん た 実 正連 まん と と と と と と と と と と と と と まん と な あ 期間 と を を と し も し も し も と を を と し も と を を と し も と な あ 期間 と を を と し も と な あ 期間 と を を と し も と な あ 期間 と を を と と と か まん か まん か まん か まん か まん か まん か ま	・実技の授業 ・必修の実験・必修の実験・必修の実験・ ・必修の実験・ ・変を多の演習の授 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	時数 実習・実技の授業時数) 数 実習・実技の数 (専修学 (専修学学 (専修学学	か 単位数 か 単位数 か 単位数 か 単位数 を 設置基準第41条第1項	(マームページURL) (東第1号) (東第2号) (東第3号) (東第5号)	0 単 90 単 2,010 単 0 単 0 単 - 単 - 単 - 単 - 単 3 人 1 人 0 人 0 人	単位時間 間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL を業等の実施が、した状かに記入)	※有の場合 https://yu (A:単位	、例えば以下について 評価団体: - pshida-hcc.jp/ pshida-hcc.jp/ pshida-hcc.jp/ pshida-hcc.jp/ pshid	任意記載 等と連携 (し) (し) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は	た演習の授業等と連携した。 等と連携したと連携したたま、実験の連携したたま、実験の連携したたま、実験の連携したたま、ままでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずで	・実技の授業 ・必修の実験・必修の実験・必修の実験・ ・必修の実験・ ・変を多の演習の授 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	時数 実習・実技の授業時数) 数 実習・実技の数 (専修学 (専修学学 (専修学学	の授業時数 の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	(マームページURL) (東第1号) (東第2号) (東第3号) (東第5号)	0 単 90 単 2,010 単 0 単 0 単 - 単 - 単 - 単 - 単 3 人 1 人 0 人 0 人	単位時間間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針
- 工業分野教育課程編成委員会は工業分野における推薦学科において、実践的かつ専門的な職業教育を実施するため、企業等との連携を通じ必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成(授業科目開設・授業内容・実施方法の改善・工夫等)に活かすことを基本方針とする。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①工業分野教育課程編成委員会は、学校教職員2名以上、工業分野に関する企業等の役職者2名以上により構成する。 当該委員会は工業分野における推薦学科等の実践的かつ専門的な職業教育の実施に向け、必要な情報の把握・分析を 行い、実践教育課程の編成に活かすため、次の事項について審議を行う。
- ・業界における人材の専門性の動向、国又は地域の産業振興の方向性に関する事項
- ・実務に必要な最新の知識・技術・技能に関する事項
- ・学則の教育課程に関する事項
- 教育課程に基づくシラバスに関する事項
- ・実習・演習等に関する事項
- ・その他、職業教育に関する事項
- ②教育課程編成委員会の提言等を踏まえ、学科会議にて付議・検討を行い、授業科目の追加や授業内容・方法の改善・ 工夫を行う。なお、学則変更を伴う教育課程の変更については、理事会の決議を経て行われる。また、シラバス・ 実習・演習に関する変更については、校長の決裁を経て行われる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年5月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
篠原 たかこ	公益財団法人画像情報教育振興協会 事務局長/教育事業部事業部長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	1
蒲原 仁	株式会社ロケットスタジオ ゼネラルマネー ジャー	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	3
北村 吉正	株式会社アドグローブ 札幌スタジオ ディレクター	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	3
戸田 隆元	株式会社とだなら 代表取締役	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	3
熊谷 友介	株式会社エンプラント 事業開発部長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	3
橋本 直樹	学校法人吉田学園 専門学校北海道サイバークリエイタース、大学校 校長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	_
川東 博之	学校法人吉田学園 専門学校北海道サイバークリエイタース、大学校 学科長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	
小椋 透	学校法人吉田学園 専門学校北海道サイバークリエイタース、大学校 主任	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (9月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月18日 16:00~17:30

第2回 令和7年3月18日16:00~17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

工業分野教育課程編成委員会での意見・要請等を十分にいかし、必要に応じて授業科目の開設や授業内容・方法の改善 工夫等を行う。なお、学則変更を伴う教育課程の変更については、理事会の決議を経て行うこととし、シラバス・実習・演習 に係る変更については、校長の決裁を経て行うこととする。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

教育サポート契約者による連携および、教育提携契約による連携を基本とし、実践的かつ即戦力となり得る技術習得を目 指すために連携を行うもの。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
- •「株式会社ボーンデジタル」との教育サポート契約により、ゲーム制作会社などから講師を派遣いただき、制作業務内容や 実業務で必要なスキルについて、企業側が求める必要な知識・技術を講師と教員でミーティングしながら特別授業として実 施する。学期末には授業終了報告として振り返りを実施する。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
	の講師が一部の授業	外部の企業を招いて、より現場に 即した技術・知識を身につけるとと もに、企業研究も行う。	株式会社ボーンデジタル

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員は、学校法人吉田学園研修規程により、次に掲げる各研修を通し、現在就いている業務又は将来就くことが予想され る業務の遂行に必要な知識・技術・技能等を修得するとともに、その他その遂行に必要な能力・資質等の向上を図ることを 基本方針とする。

- •教職員研修会
- 専門学校教育研修会
- •階層別研修
- ・外部研修等(学会等を含む)

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

「Unreal Engine Education Summit 2024」 連携企業等: Epic Games Japan

対象: グ 学科教員 ゲーム系学科教員、CG 期間: 令和6年6月6日(木)

本校も導入しているUnrealEngineを用いた先端技術を学ぶとともに、業界における事例紹介を知り、教育課

内容 程に落とし込むことが目的

[CEDEC 2024] 連携企業等: CESA 研修名:

対象: グーション 学科教員 ゲーム系学科教員、CG 令和6年8月21日(水)~8月23日(金) 期間:

授業実施上必要な内容のアップデートと新たなサービスの理解と活用の仕方を学ぶ為 内容

TTOKYO GAME SHOW 2024J 研修名: 連携企業等: CESA

ゲーム系学科教員、CG 令和6年9月26日(木)~9月29日(日) 期間:

学科教員

CESAの主催によって年に一度開催される、コンピュータエンターテインメント開発者を対象とした、ゲーム に関する技術や知識を共有する国内最大級のカンファレンス。毎年3日間にわたって開催し、エンジニアリ 内容 ング、プロダクション、ビジュアルアーツ、ビジネス&プロデュース、サウンド、ゲームデザイン、アカデミック・

基盤技術の7分野で約200ものセッションが行われ、専門技術を学ぶ場になっている。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「新入職員研修」 連携企業等: -

新入職員(入社半年以 期間: 令和6年4月1日(月) 内の正職員・嘱託職員)

学園理念を始め、当学園の組織や制度についての知識を深め、当学園に早く馴染み仕事への不安の解 内容

消を図る。

「専門学校教育研修会」 連携企業等: -研修名:

期間: 令和6年8月9日(金) 対象:正職員・嘱託職員

教育基軸の浸透を図り、日々の業務に活かすことを目的とした分科会他 内容

北海迫私立専修字校各 研修名: 「文部科学省認定「職業実践専門課程」に係る研修会 連携企業等: 種学校教育能力認定委

員会

公益社団法人 北海道

期間: 令和6年9月1日(月) 対象: 私立専修学校各種学校 連合会会員校の教職員

「北海道私立専修学校各種学校教育能力認定委員会主催で研修会を実施し、教員の授業及び学生に対

する指導能力等の修得・向上を図る。」

(3)研修等の計画

内容

期間:

①専攻分野における実務に関する研修等

Unreal Engine 5トレーナーズトレーニング 連携企業等: Epic Games Japan 研修名:

令和7年8月23日(土)

対象: ゲーム系学科教員・CG 系学科教員 令和7年9月27日(土) 令和7年10月25日(土)

Unreal Engineのエディタの基礎から、Unreal Engineのビジュアルスクリプト言語であるBlueprintを使用した 内容

簡単なゲームロジック開発までのレクチャーを受ける教員向けにトレーニング。

研修名: 「CEDEC 2025」 連携企業等: CESA

ゲーム系学科教員・CG 令和7年7月22日(火)~7月24日(木) 期間:

系学科教員

CESAの主催によって年に一度開催される、コンピュータゲームをはじめとするコンピューターエンタテイメ ントの日本最大級規模の総合展示会である。最新技術に関するセミナー等も開催されており、エンターティ 内容

メントに関する専門技術を学ぶ場になっている。

研修名: TTOKYO GAME SHOW 2025 I 連携企業等: CESA

対象: ゲーム系学科教員・CG 系学科教員 期間: 令和7年9月25日(水)~9月28日(日)

CESAの主催によって年に一度開催される、コンピュータエンターテインメント開発者を対象とした、ゲーム に関する技術や知識を共有する国内最大級のカンファレンス。毎年3日間にわたって開催し、エンジニアリ 内容

ング、プロダクション、ビジュアルアーツ、ビジネス&プロデュース、サウンド、ゲームデザイン、アカデミック・

基盤技術の7分野で約200ものセッションが行われ、専門技術を学ぶ場になっている。

②指導力の修得・向上のための研修等

「新入職員研修」 連携企業等: -研修名:

対象: 新入職員(入社半年以 内の正職員・嘱託職員) 令和7年4月1日(月) 期間:

学園理念を始め、当学園の組織や制度についての知識を深め、当学園に早く馴染み仕事への不安の解

内容 消を図る。

北海道私立専修学校各 研修名: 「文部科学省認定「職業実践専門課程」に係る研修会

連携企業等: 種学校教育能力認定委

員会

公益社団法人 北海道 期間: 令和7年8月1日(月) 対象: 私立専修学校各種学校

連合会会員校の教職員

「北海道私立専修学校各種学校教育能力認定委員会主催で研修会を実施し、教員の授業及び学生に対 内容

する指導能力等の修得・向上を図る。」

「専門学校教育研修会」 連携企業等: -研修名:

令和6年8月8日(金) 対象: 正職員・嘱託職員 期間:

教育基軸の浸透を図り、日々の業務に活かすことを目的とした分科会他 内容

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価委員会は、学校が行った次の事項に対する自己点検・評価の結果に基づき評価を行い、学校は、当該委 員会においての意見・評価を、自己点検・評価の結果と共に真摯に受け止め、必要な改善に努めるとともに、学校運営や教 育実践力等の向上を図ることを基本方針とする。

- •教育理念•目標
- •学校運営
- •教育活動
- •学修成果
- •学生支援
- •教育環境
- ・学生の受け入れ募集
- ・教育の内部質保証システム
- •財務
- •社会貢献 地域貢献
- •国際交流

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	①理念・目的・育成人材像(教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材 像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか) ②教育の特色(社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いているか)
(2)学校運営	①運営方針(運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか) ②事業計画(事業計画を作成し、執行しているか) ③運営組織(運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか) ④教職員の評価・育成(教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか) ⑤人事・給与制度(人事・給与に関する制度を確立しているか) ⑥情報システム(情報システム化等による業務の効率化が図られているか)
(3)教育活動	①目標の設定(教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか) ②教育方法・評価等(各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか) ③成績評価・単位認定等(成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか) ④資格・免許取得の指導体制(資格・免許取得のための指導体制があるか) ⑤キャリア教育等(基礎的・汎用的能力(①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力)を身につけるための取組が実施されているか)

	·
(4)学修成果	①学修成果(各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか) ②就職率(就職率の向上が図られているか) ③資格・免許の取得率(資格・免許取得率の向上が図られているか) ④社会的評価(卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか)
(5)学生支援	①修学支援(学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか) ②就職等進路(就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか) ③学生相談(学生相談に関する体制は整備されているか) ④学生生活(学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか) ⑤中途退学への対応(退学率の低減が図られているか) ⑥保証人(保護者)との連携(保証人との連携体制を構築しているか) ⑦卒業生・社会人支援(卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか)
(6)教育環境	①施設・設備等(施設、設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ②学外実習、インターンシップ等(校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備しているか) ③防災・安全管理(防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか)
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動(学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか) ②入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか) ③学納金(学納金は妥当なものとなっているか)
(8)財務	①関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか) ②個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか) ③学校評価(自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか) ④改革・改善(各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか) ⑤教育情報の公開(教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか)
(9)法令等の遵守	①財務基盤(学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか) ②予算・収支計画(予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び 収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか) ③監査(財務について会計監査が適正におこなわれているか) ④財務情報の公開(私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、 適切に運用しているか)
(10)社会貢献·地域貢献	①社会貢献・地域貢献(学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・ 地域貢献を行っているか) ②ボランティア活動(学生のボランティア活動を奨励・支援しているか)
(11)国際交流	①留学生の受入れ・海外への留学(留学生の受け入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか)

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価において出された意見を基に、学校は評価の低い項目について職員会議を通じ確認し、関係各署を交え、教育内容や事務処理の不備など学校運営における問題点の洗い出しと改善に努める。

自己点検・評価シートによる点検、評価について報告し、同時に示した改善・対策について今後取り組みを図り、各分野毎の意見について学内にて検討し、改善課題として取り組むこととした。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
石原 勲		令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	地域住民
谷崎 英二	NH - 1 C-1	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委 員·卒業生
中川 貴宣		令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	PTA

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ · 広報誌等の刊行物 · その他())

URL: https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/hcc/

公表時期: 令和7年10月31日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

吉田学園の専門学校各学科において、当学科の教育活動を支援くださる方たちが、吉田学園の教育について深くご理解いただき、業界の更なる発展と地域社会の活性化に向けた連携、協力となる関係構築のため、吉田学園情報公開規程に基づいた情報の提供を行う。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・学校の沿革・歴史 ・設立と教育目標、理念、教育方針 ・校長名、所在地、連絡先等
(2)各学科等の教育	・定員数、在学生数 ・カリキュラム(授業概要、授業時数等) ・進級・卒業要件等(成績評価基準、進級・卒業の認定基準等) ・学習の成果として取得を目指す資格等 ・卒業者数、卒業後の進路(主な就職先、就職者数、就職率等)
(3)教職員	•教員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・就職支援等への取り組み状況 ・現場実習等の取り組み状況
(5)様々な教育活動・教育環境	・学校行事への取り組み状況 ・部活動の活動状況および実績 ・施設・設備等の教育環境
(6)学生の生活支援	・学生・生活指導への取り組み状況 ・カウンセリングの体制整備等に関する状況
(7)学生納付金·修学支援	・学生納付金の取扱い(学費・納入時期等)・活用できる修学支援の内容(奨学金、経済的支援等制度、貸付金の案内等)

(8)学校の財務	·事業報告書 ·貸借対照表 ·収支計算書 ·監査報告書
(9)学校評価	・自己点検・評価、学校関係者評価の結果 ・評価結果を踏まえた改善方策等
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームペーシ · 広報誌等の刊行物 · その他())

URL: https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/hcc/

公表時期: 令和7年10月31日

授業科目等の概要

	授業科日等の概要 (工業分野 専門課程 ゲームクリエイター学科 (3 年制))															
		分類 I	Į			ж-1	1410		授	受業フ		場	所	教	員	
		選択必修	選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演習	実習・実	校内	校 外			企業等との連携
1	0				プログラムを作るために必要となるC言語 (プログラミング言語)について学習しま す。	1 • 前	120	8	0		技	0		0		
2	0			ゲーム開発基礎技 法 (2Dゲーム制作 基礎)	2Dゲーム制作における基本プログラムを学習します。Windowsプログラム、ゲームループなどを学習して2Dシューティングゲームを制作します。	1 · 前	90	6	0			0		0		
3	0			ゲーム開発基礎技 法 (情報処理基 礎)	コンピュータに関する基礎知識を学習しま す。	1 · 前	60	4	0			0		0		
4	0				3Dモーションやレベルデザインツールを用いて、3Dゲーム制作に必要な表現技術を学習します。	1 • 前	60	2		0		0		0		
5		0		制 作 補 助 技 法 (ゲームエンジン 応用)	ゲームエンジン(Unity・UE5)を使用した ゲーム制作を行います。	2 • 通	120	4		0		0		0		
6	0			即作册助汉丛(7	オンラインゲーム制作の基礎を学習する。 クライアントサーバー型プログラミングに おける、テンプレートや同期など基礎知識 を学習します。	2 • 通	120	4		0		0		0		
7		0			ステージ配置や難易度調整など、レベルデ ザインについて学習します。	2 • 通	90	3		0		0		0		
8	0			ネジメント技法)	実際の開発現場同様に、制作チームをマネ ジメントする技術を学習します。	· 前	60	4	0			0		0		
9	0			制 作 補 助 技 法 (ゲーム表現技 法)	シェーダーなど、より高度な表現方法を学 習します。	3 • 前	60	4	0			0		0		
10	0			デザイン関連技法 (CG基礎・応用)	ペイント系ソフトウェアである、PhotoShop のオペレーション及び、CG ツール Maya の オペレーションを学習します。		60	4	0			0			0	
11	0				1 年次に学習した C 言語をベースに、 C++、オブジェクト指向について学習しま す。	2 • 前	120	8	0			0		0		
12	0				C++を用いた 2D シューティングゲーム制作、3Dゲーム制作を通して、オブジェクト指向を用いた本格的なゲーム制作を学習する。	2 • 通	360	12		0		0		0		
13	0			制作総合(制作総合)	チーム制作を行う。企画立案からスケ ジュール調整、展示・発表まで実践的な開 発方法を学習します。	3 • 前	240	8		0		0			0	
14	0	0		ゲーム開発実践	外部の企業を招いて、より現場に即した技術・知識を身に着けるとともに、企業研究も行います。 ※1次、2次、3次に実施しており、1次および2次は必修とし、3次については企業インターンシップが実施される可能性もあるため、選択科目としています。	2	90	6	0			0		0		0

15	0		ビジネス関連技法 (学科基礎学習)	各専門科目を学習するにあたって必要となる、パソコン操作や設定、ゲーム制作に必 要な基礎知識を学習します。		30	2	0			0		0		
16	0	0	ビジネス関連技法 (学科総合学習)	学内・学外イベントの説明や準備、連絡事項の伝達、ビジネススキルなど、学科の通常授業外に関わること全般を学習します。 ※1次、2次、3次に実施しており、1次および2次は必修とし、3次後については企業インターンシップが実施される可能性もあるため、選択科目としています。	2 3	180	6		0		0		0		
17	0		ビジネス関連技法 (キャリアデザイ ン)	企業研究、応募書類作成、面接対策など、 就職活動へ向けた準備を行います。	2 · 後	30	2	0			0		0		
18	0		法(ゲームエンジ	Unity のオペレーションを学習します。 C/C++とは違ったアプローチのゲーム開発を 学習します。	1 · 後	60	4	0			0		0		
19	0		ゲーム開発応用技 法 (2Dゲーム制作 応用)	2D アクションゲーム制作を行い、2D ゲーム制作技術を学習します。	1 · 後	60	2		0		0		0		
20	0		法(3Dゲーム制作	3D ゲーム制作の技術を学習します。空間座標、カメラ、ライティングなど、3D プログラミングを行う上で必要とる基礎知識を習得し個人制作として、3D ゲーム制作をおこないます。	1	60	4	0			0		0		
21	0		ゲーム開発応用技法(3Dゲーム制作応用)		'	150	4		0		0		0		
22	0		法 (3D表現技術	3Dモデルの概念、 3Dモーションを学び、 ゲームステージや 3Dモーションを 制作します。	1 · 後	60	2		0		0		0		
23		0	基礎技法(サー	クラウド上にAPIサーバー・データベースを 構築し、ゲームエンジンから通信する技術 について学ぶ。		180	6		0		0		0		
			合計	30	科	目				2, 850	単位	立 (単位	時間])

	卒業要件及び履修方法	授業期間等		
卒業要件	修業年限以上在学し、教育指導計画に従って授業科目を履修し、その成果が : 満足できると認められるとき。1課程800時間以上、2課程1,700時間以上、3 課程2,400時間以上の授業時間数を修得し、当該課程を修了したとき。	1 学年の学期区分	2 期	
履修方法	対面及び遠隔授業等により、学則別表に定められる当該学年に認定された授業科目の全てを履修しなければならない。	1 学期の授業期間	15 週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。